

小蘭 花は大らんのごとく、葉みじかく、葉先みだれてあし、びめらん共いふ、

白莖 葉も花も莖白し、是を上トス、今は中絶してすくなし、黒莖紫莖青莖トテいろく、有大蘭

は青莖なり、又は菖蒲蘭といふ有、大蘭と同じ、○中略

石蘭 葉はまらんはくらんなどのごとくにて、根本土の上に二三寸高ク岩のごとく成かぶ有、

年々に數出て後は岩窟のごとし、其間々に花七八寸ニ出ル、花形は大蘭に似て色うこん也、岩石蘭共云、

風蘭 葉はみじかくせきせうのごとし、花白し、根を竹の皮につゝみ、中につりて置、風を得て紫

ル也、

春蘭 春草の部に澤蘭花うすむにくはし

ばらん 葉は大キクあつし、花は未見、本草綱目馬蘭時珍曰、其葉似蘭大キシ、其花似菊紫也故名

俗稱物之大家爲馬云々、此事にや不知、

日光蘭 葉はまらんによくにて、花は九りん草のごとくなれ共、咲ぶり各別なり、ほそきるだを

うちてさく、色はこいむらさきト白トうす色かきいろ四五色有、

紫蘭 葉はさゝのやうにて、中々花出て、こいむらさき、

白蘭 葉はまらんよりみじかく、花まろし、

黄蘭 葉はあつもあり草といふ草のごとし、花黄色、

〔和漢三才圖會九十三〕蘭花○中略

按蘭花最不忍寒暑風雨故多鉢植之唯豫州大洲紀州若山及遠州作圃畦種之能茂盛長三尺者多、

秋芳者即眞蘭花也、春芳者即春蘭也、

黒蘭 長尺許葉花並似秋蘭而小、其花黒赤色、